

# KAYABA RALLY TEAM

2026 ALL JAPAN RALLY CHAMPIONSHIP REPORT #3

2026/5/8~10 奈良県天理市

Rd.3

YUHO Rally 飛鳥

supported by トヨタユナイテッド奈良



## スペシャルステージ

SS数: 12  
路面: ターマック / 一部グラベル

総走行距離: 495.37 km  
SS距離: 81.18 km

**LEG1** 5/9(土) 天候: 晴れ / 路面: ドライ

SS1	Tenridam 1	3.44 km
SS2	Takai Memorial 1	7.58 km
SS3	Ryujinko 1	7.44 km
<b>SERVICE A (30 min)</b>		
SS4	Tenridam 2	3.44 km
SS5	Takai Memorial 2	7.58 km
SS6	Ryujinko 2	7.44 km
<b>SERVICE B (45 min)</b>		

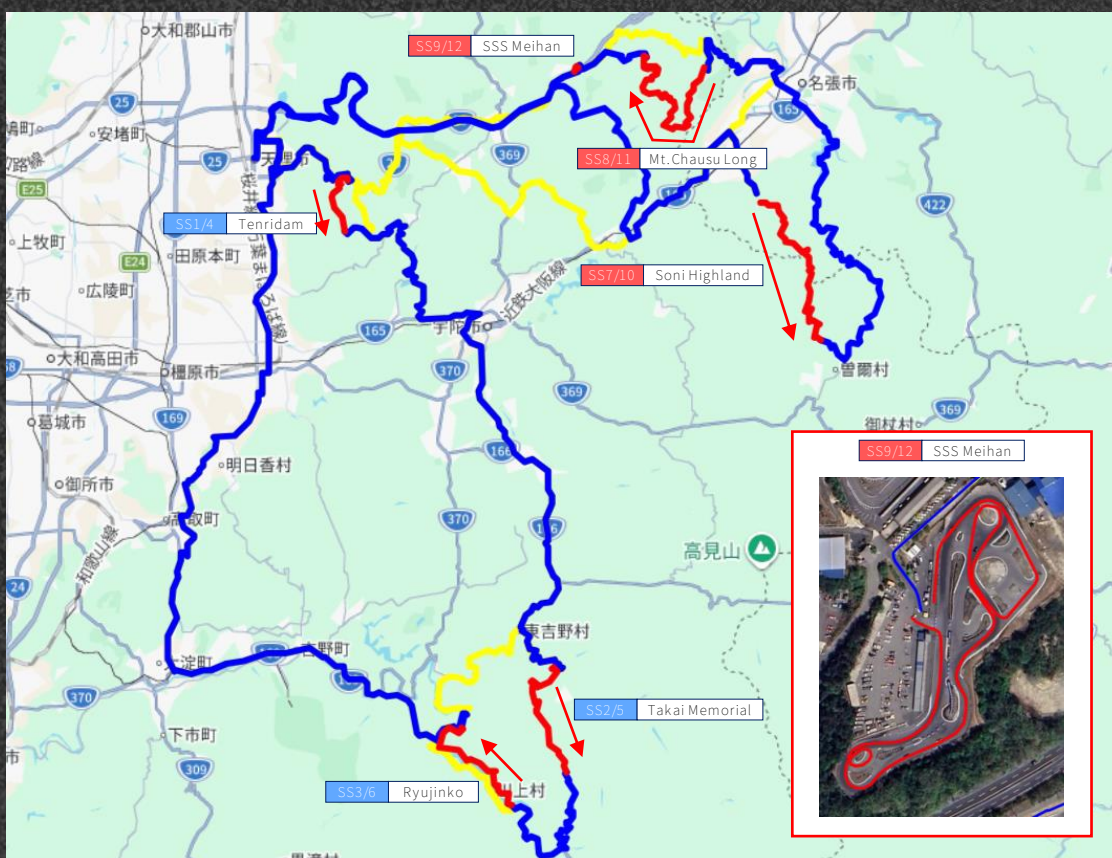
**LEG2** 5/10(日) 天候: 晴れ / 路面: ドライ

<b>SERVICE C (15 min)</b>		
SS7	Soni Highland 1	10.07 km
SS8	Mt.Chausu Long 1	11.32 km
SS9	SSS Meihan 1	0.74 km
<b>SERVICE D (30 min)</b>		
SS10	Soni Highland 2	10.07 km
SS11	Mt.Chausu Long 2	11.32 km
SS12	SSS Meihan 2	0.74 km

SS1/4	<b>NEW</b> Tenridam	前半は天理ダムの周辺道路を使用した低中速主体のレイアウト、後半は緩いコーナーが多く比較的道幅が広い林道区間を走行する。
SS2/5	Takai Memorial	2025年と同一林道だが、スタート位置が手前に伸びている。緩いコーナーが多く車速が高い。古い舗装と荒れた路面、古く背の高い縁石が特徴的。
SS3/6	<b>NEW</b> Ryujinko	大滝ダムによるダム湖「おおたき龍神湖」の周辺道路を走行。他ステージと異なり平坦な道が多くを占める。
SS7/10	<b>NEW</b> Soni Highland	序盤は高速区間かつ落ち葉と泥で滑りやすいという高難度ステージ。終盤はつづら折りのヘアピンコーナーが続く。
SS8/11	Mt.Chausu Long	2025年に使用されたコースを延長。アップダウンやうねりが多く、トリッキーなステージ。後半は世界ラリー選手権のように民家近くを駆け抜ける、特徴的なステージ設定となっている。
SS9/12	<b>NEW</b> SSS Meihan	昨年から引き続き、名阪スポーツランド Cコースを使用したサーキットステージが設定され、多くの観戦者が集まった。コースレイアウトは昨年から変更され、難易度が向上している。



## 全体図



## チーム体制



監督: 榎本 一憲  
 ドライバー: 石黒 一暢  
 コ・ドライバー: 穴井 謙志郎  
 メカニック: 増谷 大志 / 松田 幸也 / 三國 大河  
 エンジニア: 古川 優太  
 マネージャー: 池戸 敬也  
 チームアドバイザー: 奴田原 文雄 (NUTAHARA Rally Team)  
 メカニックアドバイザー: 山田 淳一 (RUTS RACING)

# リザルト

クラス8位 / 総合34位 (JN-1クラス10台 / 総合87台 参加)

LEG1: クラス9位/総合42位 LEG2: クラス7位/総合25位

クラス	No.	Dr.	Co-Dr.	参加車両名	車両型式	車両区分	LEG 1										LEG 2							総合計	クラス順位	総合順位
							SS1	SS2	SS3	SS4	SS5	SS6	Penalty	合計	SS7	SS8	SS9	SS10	SS11	SS12	Penalty	合計				
JN-1	2	勝田 範彦	保井 隆宏	GR YARIS Rally2	MXPA12	Rally2	2:27.7	5:47.9	5:32.0	2:27.0	5:43.1	5:26.9		27:24.6	6:56.0	8:20.7	0:45.0	6:49.9	8:16.1	0:45.7		31:53.4	59:18.0	1	1	
JN-1	3	鎌田 卓麻	松本 優一	Castrol TEIN DL FABIA	ABCUFX11	Rally2	2:29.0	5:49.6	5:32.2	2:28.2	5:44.1	5:28.0		27:31.1	6:57.2	8:23.9	0:46.1	6:56.7	8:15.5	0:45.5		32:04.9	59:36.0	2	2	
JN-1	4	坂田原 文雄	東 駿吾	ADVAN KTMS GRヤリスRally2	MXPA12	Rally2	2:30.2	5:48.3	5:34.8	2:29.9	5:43.2	5:32.8		27:39.2	7:06.4	8:30.9	0:46.5	6:55.0	8:20.1	0:45.9		32:24.8	1:00:04.0	3	3	
JN-1	6	福永 修	齊田 美早子	スミロン☆焼肉ふじ☆CTE555DLファビア	ABDKZX11	Rally2	2:30.0	5:53.9	5:42.4	2:28.1	5:43.2	5:32.8		27:50.4	7:08.3	8:30.0	0:45.2	6:58.3	8:24.4	0:45.9		32:32.1	1:00:22.5	4	4	
JN-3	12	山田 啓介	藤井 俊樹	FIT-EASYソミック石川DLGRヤリス	GXPA16	Rally2	2:35.8	6:08.6	5:44.7	2:34.4	6:07.3	5:41.2		28:52.0	7:09.4	8:39.4	0:47.1	7:06.8	8:44.3	0:46.9		33:13.9	1:02:05.9	1	5	
JN-1	5	新井 敏弘	安藤 裕一	SUBARU Boxer Rally specZ	ZD8	JP4	2:31.2	6:09.1	5:49.7	2:34.3	5:56.2	5:46.4		28:46.9	7:10.2	8:40.4	0:46.9	7:07.8	8:47.4	0:47.8		33:20.5	1:02:07.4	5	6	
JN-3 (MCC)	19	奥井 優介	藤田 めぐみ	CUSCO WM DL GR Yaris	GXPA16	RJ	2:34.8	6:05.8	5:51.6	2:38.2	6:03.2	5:53.2		29:06.8	7:21.1	8:59.3	0:47.4	7:28.6	9:00.2	0:47.7		34:24.3	1:03:31.1	2	7	
JN-3 (MCC)	22	米林 慶晃	菅野 総一郎	KTMS NRS GRヤリス	GXPA16	RJ	2:44.4	6:14.6	5:55.0	2:39.9	6:11.5	5:51.1		29:36.5	7:18.5	8:56.1	0:48.9	7:23.7	8:53.8	0:49.0		34:10.0	1:03:46.5	3	8	
JN-3 (MCC)	21	長尾 綱也	尼子 祥一	DL WPMS GRヤリス	GXPA16	RJ	2:36.9	6:15.2	5:53.9	2:37.6	6:14.9	5:55.4		29:33.9	7:25.8	9:01.5	0:49.4	7:21.8	8:53.3	0:53.8		34:25.6	1:03:59.5	4	9	
JN-3	15	小泉 敏志	加勢 直哉	MAYA DLクスコ ドリームドライブGRヤリス	GXPA16	RJ	2:37.9	6:19.9	6:04.0	2:36.5	6:02.5	5:46.2	1:10.0	30:37.0	7:25.8	8:45.4	0:47.2	7:17.4	8:37.8	0:47.8		33:41.4	1:04:18.4	5	10	
JN-3	14	大倉 聡	豊田 耕司	AISIN GR Yaris DAT	GXPA16	RJ	2:41.7	6:26.9	5:52.2	2:40.1	6:23.1	5:49.8		29:53.8	7:25.8	9:05.1	0:56.9	7:28.6	9:00.8	0:49.4		34:46.6	1:04:40.4	6	11	
JN-3	16	内藤 学武	大高 徹也	YH TEIN Motys GRヤリス	GXPA16	RJ	2:41.1	6:23.3	5:56.7	2:36.6	6:13.8	5:51.0		29:42.5	7:25.8	9:19.9	0:48.8	7:32.5	9:03.0	0:49.1		34:59.1	1:04:41.6	7	12	
JN-3	13	徳尾 慶太郎	枝光 展義	DLクスコitzzフォルテックヤリス	GXPA16	RJ	2:45.9	6:18.8	5:59.4	2:41.7	6:21.8	5:58.6		30:06.2	7:25.8	9:15.2	0:49.6	7:33.3	9:02.1	0:49.6		34:55.6	1:05:01.8	8	13	
JN-3	18	石川 昌平	佐々木 翔	ARTAオートボックスGRヤリス	GXPA16	RJ	2:46.3	6:30.6	6:03.0	2:43.3	6:20.9	5:55.4		30:19.5	7:25.8	9:07.8	0:49.4	7:34.0	9:03.3	0:48.6		34:48.9	1:05:08.4	9	14	
JN-1	7	石黒 一暢	穴井 謙志郎	カヤバ YH GRヤリス	GXPA16	JP4	2:50.0	6:50.3	6:32.6	2:53.4	6:47.6	6:33.5	1:00.0	33:27.4	7:25.8	9:25.5	0:48.4	7:48.0	9:16.6	0:48.4		35:32.7	1:09:00.1	8	34	

## LEG 1

### SS1 Tenridam 1 3.44 km

走行タイム 2:50.0 ステージ順位: クラス 7位 / 総合 28位 合計タイム順位: クラス 7位 / 総合 28位

第1戦・第2戦をリタイアで終えたことを受け、本ラリーでは完走を最優先課題として臨んだ。大会直前に車両の整備作業を終え、十分な走行テストを実施できていなかったため、車両状態を確かめつつ、特に高速区間では安全マージンを確保しリスクを抑えることを重視した。守りに入りすぎてしまい総合28位とタイムは沈むが、この時点では車両に問題は無く、徐々に感覚を取り戻しながらの走行となった。



### SS2 Takai Memorial 1 7.58 km

走行タイム 6:50.3 ステージ順位: クラス 7位 / 総合 34位 合計タイム順位: クラス 6位 / 総合 31位

SS2のスタート位置に着く直前に、車両から大きな衝撃音が発生。走行時に異音と振動が発生するようになってしまう。エンジン後方に位置し、駆動力を車両後方に出力するトランスファーという部品が破損したことが後に判明。走行しながら車両の状態把握を行い、車両の挙動が非常に不安定となってしまったことから、無理をせずに走行することを決断。



### SS3 Ryujinko 1 7.44 km

走行タイム 6:32.6 ステージ順位: クラス 8位 / 総合 40位 合計タイム順位: クラス 7位 / 総合 34位

駆動系の異音はさらに大きくなり、急激な加減速やシフトチェンジを避けながら、車両への負荷を最小限に抑えて走破した。無事にサービスパークへ戻り、サービス作業の中で破損部位の調査を実施し、部品を特定。しかし、サービスAの30分間では完全な修復は不可と断念。SS4~SS6も車両を労わりながら走行し、LEG1最後の45分のサービスBで部品交換を行う決断を下した。



## SERVICE (30min)

### SS4 Tenridam 2 3.44 km

走行タイム 2:53.4 ステージ順位: クラス 9位 / 総合 39位 合計タイム順位: クラス 8位 / 総合 34位

SS4~SS6では、これ以上車両にダメージを与えないことを最優先に走行した。トランスファーは完全に破損していたわけではなく、後輪への動力伝達がわずかに残っている状態だったため、瞬間的に4輪駆動と2輪駆動を行き来する非常に不安定な挙動が発生。各種操作にも細心の注意を払いながら、終始気の抜けない走行となった。



### SS5 Takai Memorial 2 7.58 km

走行タイム 6:47.6 ステージ順位: クラス 7位 / 総合 32位 合計タイム順位: クラス 7位 / 総合 32位

引き続きペースを抑え、サービスに辿り着くことを意識して走行。うねりと荒い路面で車両への負担も激しく、異音と振動が大きくなる瞬間もあったが、無事に走破。



## SS6 Ryujinko 2 7.44km

走行タイム 6:33.5 ステージ順位：クラス 9位 / 総合 45位 合計タイム順位：クラス 9位 / 総合 42位

終始、大きな異音と振動を伴う厳しい車両状態で、精神的にも非常に苦しい状況だったが、無事に走破。LEG1最後のサービスBにて車両修復を実施した。整備時間は45分に設定されていたものの、破損部品の交換作業に想定以上の時間を要し、チーム初となるサービス時間超過が発生。結果として6分の超過となり、60秒のタイムペナルティを受けることとなった。(1分超過あたり10秒のタイムペナルティが課される)



## LEG 2

## SS7 Soni Highland 1 10.07km

走行タイム 7:25.8 ステージ順位：クラス -位 / 総合 -位 合計タイム順位：クラス 8位 / 総合 40位

前日のサービス作業により車両修復は完了したものの、グラベル用として保有していた仕様違いの部品を使用して修理したため、これまで実績のない車両仕様で臨むこととなった。仕様差による挙動の違いを確認しながら走行していたが、ステージ中盤で前走車がクラッシュしコースを塞いでしまったため、走行は中断。ノーショナルタイム(SSを走行できなかった選手に主催者より与えられる仮想タイム)が与えられた。



## SS8 Mt.Chausu Long 1 11.32km

走行タイム 9:25.5 ステージ順位：クラス 8位 / 総合 28位 合計タイム順位：クラス 8位 / 総合 38位

昨年も使用されたコースだが、今回はフィニッシュ位置が延長され、民家の近くを全開で駆け抜けるなど、主催者の苦勞が感じられるステージ構成となっていた。低速区間ではしっかりと攻めつつ、リスクの高い箇所や高速区間では一歩引いた走りを選択し、確実な完走を意識。完全に本来の調子を取り戻した状態ではないものの、徐々に感覚を取り戻しながらフィニッシュすることができた。



## SS9 SSS Meihan 1 0.74km

走行タイム 0:48.4 ステージ順位：クラス 6位 / 総合 9位 合計タイム順位：クラス 8位 / 総合 37位

名阪スポーツランドを使用したサーキットステージ。見通しが良いため、ノートリーディング無しで走行に臨んだ。昨年からレイアウトが変更され、サイドターンが必要となるコーナーも新たに設定された。細かなミスはあったものの、車両に大きなトラブルなく走行。ミスなく攻め切ることができれば、同クラスのラリー専用車両に匹敵するマシンスペックを備えていることを改めて実感できるステージとなった。



## SS10 Soni Highland 2 10.07km

走行タイム 7:48.0 ステージ順位：クラス 8位 / 総合 28位 合計タイム順位：クラス 8位 / 総合 36位

SS7で発生した前走車のクラッシュを受け、発生箇所周辺の特に危険な箇所は警戒しつつ、完走の意識は忘れずにペースコントロールを実施。メリハリを意識し、得意なコーナーはしっかりと攻め切り、危険な箇所は守りに入った。



## SS11 Mt.Chausu Long 2 11.32km

走行タイム 9:16.6 ステージ順位：クラス 7位 / 総合 27位 合計タイム順位：クラス 8位 / 総合 34位

本ラリー最後の林道ステージ。次戦を意識しつつ、車両を完全にコントロール下に置く意識で走行。マージンを取っているからこそ意識できる細かな部分に気を向け、ステアリング、アクセル、ブレーキの操作をより丁寧に正確に行い、余裕を持って攻めるといった感覚を改めて確認した。



## SS12 SSS Meihan 2 0.74km

走行タイム 0:48.4 ステージ順位：クラス 6位 / 総合 9位 合計タイム順位：クラス 8位 / 総合 34位

ラリー飛鳥を閉める最終ステージ。集まった多くのギャラリーに楽しんでもらえるようにと意気込んで走り、ラリー飛鳥を完走した。目標としていた無傷完走を達成し、今シーズンの悪い流れは断ち切った。次戦の久万高原ラリーに向けて仕切り直し、本戦で見た問題点の改善を進め、改めて万全な体制で挑戦を継続していく。



# PHOTO GALLERY



## DRIVER 石黒 一暢 - Ishiguro Motonobu -



まずはじめに、前戦のリタイヤから、日程がない中で急ピッチで車両準備を進めていただいたチームと関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。私自身も車両準備に関わらせていただいた中で、この活動におけるラリーとの向き合い方を改めて整理し、本ラリーは絶対に無傷で完走することを胸にスタートしました。

ラリー飛鳥のステージは、ハイスピードでクレストが多く、テクニカルセクションでは荒れた舗装で足回りを痛めやすいなど、難易度が高いことが特徴です。SS1は感触を確かめるため、慎重にスタートしましたが、SS2のスタート前に駆動系が破損し2輪駆動状態となったことから、LEG1は車両を労りつつ走行しました。サービスBではメカニックの懸命な作業により、見事復旧に成功。LEG2も林道区間では少しずつ勘を取り戻すよう走行し、SSSの名阪スポーツランドではまずまずのタイムを出すことができました。

次戦久万高原ラリーにおいても、少しずつ調子を取り戻し、元気な走りをご覧いただけるよう努めて参りますので、応援のほどよろしくお願いいたします。

## Co-DRIVER 穴井 謙志郎 - Anai Kenshiro -



多くの方々のご支援・ご協力をいただいたことで、本戦に参加することができました。心より感謝申し上げます。応援いただいている皆様には、期待に応える成績をお届けできず申し訳ない気持ちを抱えつつも、2戦連続リタイヤとなった状況を受け、今回はタイムや順位よりも「確実に無傷で完走すること」を最優先に臨みました。リタイヤが続いたことで競技走行の空白期間が長くなっていったこともあり、まずはラリーの感覚を徐々に取り戻し、自信を回復したいという思いもありました。LEG1では部品破損のトラブルが発生し、思い通りに競技を進めることはできませんでしたが、車両を労りつつサービスに届けた石黒、そして車両を修復しLEG2に繋げてくれたチームの皆、沿道から応援いただいた観客の皆様には感謝です。LEG2ではリスクを避けるあまり守りに入りすぎた面は否めませんが、次戦に繋がる手応えを得ることができたと感じています。

次戦の久万高原ラリーは、昨年とほぼ同様のコース設定となる見込みです。事前準備の質が非常に重要となるため、万全の体制で臨み、皆様楽しんでいただける走りとお届けできるような努めてまいります。

## MECHANIC 増谷 大志 - Masutani Hiroshi -



前戦のリタイヤからの車両修復にあたり、多くの方々にご協力をいただき、無事に間に合わせることもできましたことを感謝申し上げます。これまで悩まされていた車両制御系の問題を解決できたことで、クルーの2人にはストレスなく競技に集中してもらいたかったのですが、「一難去ってまた一難」という言葉の通り、定期交換前のトランスファーが破損してしまいました。クルーに万全な状態の車両を準備できなかったことを、大変申し訳なく感じています。それでも異常を抱えながら走行を続け、サービスパークまで車両を戻してくれた2人に伝えるべく、現場では初となるトランスファー交換作業に挑みました。ロスなく作業を進めるため事前に打ち合わせを重ね、作業イメージを反復した上で臨みましたが、焦りから確認不足が発生し、結果としてサービス規定時間を6分超過してしまいました。クルーには申し訳ない気持ちでいっぱいです。ミスの原因分析と対策を徹底し、再発防止に努めてまいります。次戦の久万高原ラリーは、特にブレーキへの負荷が大きい大会となります。クルーが競技に集中できる車両を準備できるよう、引き続き全力で取り組んでまいります。

### NEXT RALLY

6/19~21 愛媛県上浮穴郡  
久万高原ラリー

### Special Thanks



カヤバラリーチームの活動は  
各種SNSにて発信しています。



**KYB**  
Our Precision, Your Advantage  
カヤバ株式会社